



キ  
レ  
メ  
~~キ~~  
~~レ~~  
~~メ~~

「切目」  
(石)

(一) 隙間

○ 雲の切目(れ)から僅かに陽が射した。も思つた

~~が~~ ~~す~~ ~~か~~ ~~又~~ ~~曇~~ ~~つ~~ ~~た~~ ~~丁~~ ~~つ~~ ~~た~~

(二) 盡きる所

○ 金の切れ目が縁の切れ目だ。

キレル

キル

〔切る〕

(自ラ下)

1. 離れる、別れる、絶える。

○ 話中に電話が切れた。

○ 望みの綱も切れてしまった。

○ 雲が切れて陽が射してきた。

○ 君とは切っても切れない間柄だ。

2. つきる。なくなる。

○ 油がキレて機械が動かなくなった。

○ その品は丁度切れてあります。

(「品切れ」とも云い。)

○ 約束の期日は昨日で切れました。

○ 彼は千圓が一枚切れても譲らぬと頑張つてみます。

3. やぶれる。破損する。

○ 肘が切れた。裾も切れたのだからこの服ももう着られない。

○ ひどい雨が續いたのが土手が切れた。

4. (鋭利である) 切り味がよい。又切る音が来る。

○ この小刀はなかく切れる。

○ 手の切れる様は礼では拂いた。

○ この位のもの私にだつて切れます。

5. 頭が働く。手腕が鋭い。

○ あの人にはなかく切れる人物だ。

○ 彼は切れる者で通つてゐる。

○ 剃刀の様に切れる頭を持つてゐる。

6. 句

息が切れる、息が止まる。あへぐ。死ぬ。

幕が切れる、一幕がすむ。(幕切れと名詞にも用い)

○幕切れがなか／＼よかつた。

△切れるが他の動詞に付いた場合。

……終つる、果す、盡す等の意となる。

○今日一日でやりきれぬでせうか。

○話—きれない程お話のあるのです。

○一人では食べきれません。

○一時間ではやりきれない。(終つるやがあまぬ)

やりきれないは右の用法から轉じてたまらない、辛棒  
—きれないの意にも用いる。

キロ | ぎろ 名

一、料 (キロメートル) km

○ 學校までは二料あります。(二キロ)

二、~~料~~ (キログラム) kg

○ 体重は

○ 私の体重は四十七~~料~~です。(四十七キロ)

△ 料~~料~~ 共に單にキロと云いのが普通です

る。

キロク きろく

【記録】

(名) したる他廿隻

○ 議事録・文書  
~~前回の記録を破り~~ 好成績をあげた。会議の記録を取って

○ 下さい 会議の進行と記録 し下さい

○ 記録に據ればその頃已に印度との交通が

開けておたらしい。

(二) 競技のレコード

○ 彼の今度の記録は世界的のものだ。

○ 新記録を作る。

○ 前回の記録を破り好成績をあげた。

○ 努力の甲斐あり記録破りの好成績をあげた。

ギ  
ロ  
ン  
ギ  
ロ  
ン

議  
論

(名) 一する。他  
廿変

○その問題に  
ついては  
議論  
が  
あ  
ら  
ず  
遂  
に  
決

定  
に  
至  
ら  
な  
か  
つ  
た。

○もう議論の  
餘地  
は  
な  
い。

○今更  
議論  
し  
た  
つ  
て  
始  
ら  
な  
い  
よ。



キワ  
きは  
際

名

○ 今ほの際に子供のをくいくも頼ます

した。

○ あなたがおろでになる真際ギツまで心配で

一はし  
たまりませんでした。

○ 道の真中は水溜りが多い様だからもつ

と際のを歩きなさい。

○ 往來の真中は危険だから際のを並び

二とき、折なさい。

○ 死際に子供の事を頼んごうた。

○ 帰り際に雨に降りました。

○ 試験のと真際にあはしても駐はら。



キマ  
ル  
手は  
ま  
る

極  
了  
(自四)

(一) 結局す

○ 彼は感極まりて声を上げて泣いた

○ 数年来東京の発展は極まり所を知らな

(二) 極まりて造語要素として程度の甚

しいことを示す

○ あんな気狂に及物を持たせたりなると危険

極まりた

○ 腹面もなくそんな事を云ふとは失敬極ま

る

○ 感極まりて物も言えない

キワメテ きはめで **極めて** (副)

○ 試験の結果は極めて良好です。

○ 時局は極めて重大である。

○ 彼は家庭に於ては極めて優しい父であつ

た。

キワメル きはめる (極める) (他・マ・下)

1. 果まで達する。深く研究する。

○ あのうちは和歌の道を極めていこうと存じます。

2. 極度にする。つとす。

○ 口を極めてほめるが、取っかた月

○ 鄭重を極めた挨拶で恐ろしく入った。

キン  
一 金屬

きん

金

名

○金の指輪

○金に彫刻する

○金拾圓正に受取申候

○一金拾圓也 (金包の後等に書く)

○金ピカの茶

○金側の時計

○金鍍金

○金色の紙

二 金高札を置く場合に最初と置く法。

○金拾圓也

ギン

ぎん

銀

石

○銀のメタル

○銀に彫刻する

○いぶ銀の置物

○銀色

キンイテ ぎんいち [均] [名]

○どれでもよりどり五十銭均一に致してお

きます。

△「キンイツ」も云い。

キン  
エン  
キン  
エン  
禁煙  
(名)

煙草をのむことを禁ずること。

△このニ字は日本の電車や講堂等に書つて

ある。口語では殆ど使はふい。



								中ニ
								カ <sub>七</sub>
								キ <sub>八</sub>
								ク <sub>九</sub>
								ケ <sub>一〇</sub>
								コ <sub>一一</sub>
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ
								ク
								ケ
								コ
								カ
								キ

ギンカ 志んくわ

銀貨

(名)

①戦時中は銀貨はめつた日は見られるが、  
②以前は大きき五、十、五十、銀貨があつた。

ギンカイ

ギンカイ

近海

名

○<sup>日本</sup>千島の近海には魚が多い。

○我國の近海に敵の潜水艦が現れた。

キ  
ン  
ガ  
ク

キ  
ン  
ガ  
ク

金  
額

名

○金額は幾らか。

○大した金額ではない。



キンキユウ きんきふ [緊急] (名)

○ 彼は緊急の要務を帯びて南京へ向つた。

○ 出征將士慰問の件について緊急動議が提

~~出された。~~

キンキヨオ きんきやう 匠況 名 敬

○ 御近況如何ですか。

○ 先づは近況お知らせまで。(手紙文書の末文)

キ  
ン  
キ  
ン

キ  
ン  
キ  
ン

近  
近

(名)  
(副)

○ 僕は近々に旅行に出かけよ。

○ 近々の中には彼へ行ってみよう。



キンキン きんきん

僅僅

(名、副)

反章澤

○ 彼みは本流とヤつたのは僅僅ニ至らず  
かたしい。

○ 僅僅ニつまつくかたしい。

○ 収入は僅僅田にはすぎかたしい。

僅々一ヶ月ばかりの間に随分情勢が変じたものだ。

△ 詭言葉にはあまり用ひらぬ。

キ  
ン  
ケ  
ギ

キ  
ン  
ケ  
イ

謹  
啓

(名)

平紙の冒頭に使ふ挨拶の語  
に次いでよく使はれる  
謹んで申上げるの意

キンケン

マンケン

勤儉

けん

○ 勤儉の精神

○ 勤儉の風を奨励する

キンケン

きんげん

〔謹嚴〕

(名) 形動

○彼は謹嚴~~の~~~~の~~~~の~~態度で話し出

した

○あの位謹嚴な人も珍らしい

キ  
コ  
ク  
ケ  
カ  
金庫  
(名)

金庫

金庫を満入つた。

金庫の金蔵

金蔵

キン  
ン  
コ  
オ  
きん  
かう  
「近郊」  
(名)  
のた  
○ 近郊  
東京近郊の発展ぶりを目撃したい

日本語教育振興會

キンコオ きんくわう

〔金鑛〕〔名〕

○彼は台湾で金鑛を発見したさうだ。

ギ  
ン  
コ  
オ  
ギ  
ん  
か  
う  
銀  
行  
名

○銀行に行く。

○お金を銀行に預ける。



ギ  
ン  
コ  
オ  
イ  
ン  
ギ  
ん  
か  
う  
ゐ  
ん  
銀  
行  
員  
名

○  
銀  
行  
員  
に  
な  
る。

キンコツ きんこつ

筋骨

(名)

○ 流石君の身には軍人たけに筋骨逞しい美丈夫かね

○ 彼は筋骨薄弱中身が不合格になつた

キンザイ きんざい 〔近在〕 (名)

① 近頃は近在のお百姓は大分儲りさうだ。  
○ 東京の近在では大抵十一月の終りに收穫が  
済みます。